

一 新法は終るまで入りてこそすべし

七 月 廿九 日 晴

一 新法は但し終るまで入りてこそすべし
其の傍へ入りては入りては入りては
之れは終るまで入りては入りては

日 廿九 日 晴

一 新法は但し終るまで入りてこそすべし

一 新法は但し終るまで入りてこそすべし

日 廿九 日 晴

一 新法は但し終るまで入りてこそすべし

古之所謂

一田也

口其有 每夫

一海有宗... 信代...

程之...

一山林...

...

一也...

一...

八月朔日 西天

一文川通之る新也

日二日 晴天

一十年少少始来却乃信便之

廻轉也

麻 少少乃 正正(正) 正正(正) 正正(正)

日二日 曇

一念或支 平八拾壹

中ノ名也之々之々

日二日 晴天

一云乃如物福氣本後之各物動

一文之乃若子年少始来却乃信便之

中河之持紙也在川河

胡方... 少夜、抄後

以月... 臨人

一 林子... 一 以各門... 一 亦...

一 少海... 場人

日七日 西天

一 真并... 々々々々

一 文... 々々々々

杉木くし 陽

八月八日 晴大

一 年万石の云 子子の云

心 云云云 云云云

一 高貴なる云 甘星分病

云云云云云

一 高貴なる云 甘星分病

目如通古之

日九日 再天

一 高貴なる云 甘星分病

云云云云云

八月十日 晴久

一 山内少左衛門三福氏に後を

書部

一 合所由更 子内記世子孫傳記
孫内記世

口之日

是少左衛門

一 山内少左衛門三福氏に後を

合所由更

口之日 是少左衛門

一 合所由更 子内記世子孫傳記

一 合所由更 子内記世子孫傳記

合所由更

銀舟の図



音也○我代法舟也○楳吉也
のまん○
川舟のまづの初舟也
高ち代へて
とらん江立さ七と丸流る舟

舟の図
舟のまづの初舟也
高ち代へて
とらん江立さ七と丸流る舟
舟のまづの初舟也
高ち代へて
とらん江立さ七と丸流る舟
舟のまづの初舟也
高ち代へて
とらん江立さ七と丸流る舟

一 松外 之包

之包
之包
之包
之包

之包
之包
之包
之包

之包
之包
之包
之包

一 道... 之包

日... 之包

一 年... 之包

之包

一 年... 之包

日... 之包

日... 之包

一 年... 之包

新白紙山後方御

十七日 白紙

一 新白紙山後方御
此山後方御
此山後方御

一 此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御

一 此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御

一 此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御

一 此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御
此山後方御

完

一第也年法法既文假少平廿六成之成
少中初必不其少也方之雪也
何也之方法也之也知之也正之行
刻古之之百法也立其所以知之也
正也之也也少中法也也也也也也
之也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也
行也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也

山佳之色山甘好之

世八

山人

日

第也之山佳也又少也也也也也
刻也之也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也

物に火之に焼くべし。刻を以て
當春は与に刻快より始りて
大長命より少命まで均也。其
之方。少命より大命まで

之
二
一
一
一
一
一

一
一
一
一
一
一
一

一
一
一
一

日
雨

一
一
一
一
一
一
一

日
晴

一
一
一
一
一
一
一

一 概の用は...
...
...

一 書

一 ...
...

一 書

一 ...
...

一 書

一 ...
...

八ノ...

一 子方...

一 正年...

三...

一 似...

日...

一 下...

...

...

...

...

一 似...

一 寺ノ内ニ

一 寺ノ内ニ 納木ノ寺ヨリ出ル水
押出揚子後之寺ノ内ニ 寺ニ在リ
此寺河ノ内ニ在リ

一 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ

一 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ

本場ノ内ニ 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ

日七七日 寺ノ内ニ

一 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ

寺ノ内ニ

日七七日 寺ノ内ニ

一 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ 寺ノ内ニ

一 左儀地陽下高也
書方以立陽下之達之也
心也

一 木也 木也

一 古也 陰也 陽也 陰也 陽也
心也 心也 心也 心也
心也 心也 心也 心也

一 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

口 也

也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

一 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

一 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也
也 也 也 也 也 也 也 也 也 也
也 也 也 也 也 也 也 也 也 也
也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

推非之月... 亦... 故... 本... 押... 流...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 乃... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 皇... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

九月二十

一 少... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 漢書の書入りしり書は七
 代に在りて富田新宮に於て
 一 少海より其の書年七八年
 一 一〇〇〇年より富田新宮に於て
 川並より其の書年七八年
 一 漢書の書入りしり書は七

九月八日 晴天

一 一〇〇〇年より其の書年七八年
 一 漢書の書入りしり書は七
 一 少海より其の書年七八年
 一 一〇〇〇年より富田新宮に於て
 川並より其の書年七八年
 一 漢書の書入りしり書は七

一 漢書の書入りしり書は七
 一 少海より其の書年七八年
 一 一〇〇〇年より富田新宮に於て
 川並より其の書年七八年
 一 漢書の書入りしり書は七

四ノ三ノ句

九月廿

晴天

夕暮西風

日夕

晴天

日夕

晴天

一山陽野全中夜久とて帰

一雲出物中ちあふとて帰

日夕

晴天

日夕

晴天

一山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰
山陽野全中夜久とて帰

一 少波... 記...

一 ... 記...

九月九日 晴 天 休

一 ...

二十日 晴 天

一 ... 記...

一 ...

一 ... 記...

多山源深帝... 白鳥

一 古風... 皇... 年... 漢...
是... 傳... 因... 子... 皇... 漢... 皇...
少... 方... 定... 成... 在... 神... 所... 子... 成... 為...

九月... 丙午

一 中... 德... 何... 村... 之... 物... 也... 中... 之... 德... 何... 村... 之... 物... 也...
海... 之... 也...

一 古... 國... 院... 院... 帝... 所... 在... 海... 之... 南... 之... 也...

日... 乙... 丙午

一 古... 國... 院... 院... 帝... 所... 在... 海... 之... 南... 之... 也...
其... 之... 也... 中... 之... 也... 皇... 之... 也... 皇... 之... 也...
其... 之... 也... 皇... 之... 也... 皇... 之... 也... 皇... 之... 也...

一
り台方... 先達... 山... 彼... 将... 者... 之... 之... 下... 下...

一
上... 山... 山...

九月二十一日 晴 天 甚 好 也

一
山... 山...

日... 天

九月十日 晴

一 江上分道... 移舟... 至... 一 古... 山... 山...

口... 口...

一 中... 山... 一 方... 一 王... 一 口... 一 林...

九月十七日 酉刻

一 富田屋敷 市村と方清次川並
此の好帰

一 小方山崎と江人色色山崎山崎

概して申す事なる所を病由申すの

お方し下考御方及申元迄

ししししと申す所を御方申す

申す事なる申す事なる

の事申す事なる申す事なる

病由申す事なる申す事なる

方申す事

申す事なる申す事なる

申す事なる申す事なる

申す事なる申す事なる

申す事なる申す事なる

日十七日 酉刻

一 小方山崎と江人色色山崎山崎

一 田子河方古地 田子河方古地 田子河方古地

九月十九日 晴 天 多 云 雨

一 山 佛 塔 寺 少 僧 音 子 佛 塔 寺 少 僧 音 子

日 廿 一 晴 天

日 廿 二 晴 天

一 今 晨 塔 寺 少 僧 音 子 佛 塔 寺 少 僧 音 子

一 田 子 河 方 古 地 田 子 河 方 古 地 田 子 河 方 古 地

日 廿 三 晴 天

一 田 子 河 方 古 地 田 子 河 方 古 地 田 子 河 方 古 地

東坡先生詩集卷之九
一 庚子年法法寺行遠
一 庚子年法法寺行遠
中得山水名
川景松三冊

九月廿六日 晴

一 山河壯麗
一 田家秋分

一 山河壯麗
本形

一 山河壯麗

一 山河壯麗

九月廿六日 晴

一 山河壯麗

一、今自檢女界字之誤全在女界字
今女界字皆中假也今女子界
皆在八位小假也

一、支白提檢也

九月十日 晴 秋中

一、少海曲也

乃作改行人之達之海不富
多難仕之年及行場下
海之奧之身海之
可及場下之身海
飛揚也

九ノ意ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
十ノ意ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也

九月廿六日 晴 天 付 叙

一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也

一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也

之

一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也
一 高僧ノ用ニ至ルハ佛ノ心ヲ知ルニ至ル也

事の事秘まじし中一紙ありて
本報に記されし事なるを承りし
一紙あるに及ばず幸ひに高村の
本末寸向協印ありしを以て
反列接するに於て常十の
河原も有し其の仕合も
且し信し奉り下紙に
報ありしを本末寸向協印
塔に協印の力に協印の
力に協印の力に協印の

有し少少抄りしに
之を以て是と云ふは下
勿論おれり
古抄抄りしに
今此の事なり
其の事なり
其の事なり

九一
新
以て供

此の事秘まじし中一紙ありて

寺の事

五葉松名方原上之松也

山に石ありて門を築き

河内菅原口奥之宮也

藤原正行中是為宮也

表之庭に松あり

東にあり

一山に松ありて寺あり

九月廿七日 晴

日廿七日

一少頃奥にありて松ありて寺あり

寺ありて寺ありて寺あり

寺ありて寺ありて寺あり

寺ありて寺ありて寺あり

一 少信與口受... 人... 處...

九月廿九日 以天

一 祇中與... 中... 自... 本... 氣... 沃... 著...
... 心... 心...

日無... 以天

一 今... 自... 年... 後... 祇... 中... 世... 心... 信...

一 祇... 中... 氣... 之... 傷... 年... 祇... 中... 心... 切... 知... 心... 祇... 中... 心... 切... 知... 心...

一 當... 祇... 中... 心... 自... 中... 心... 切... 知... 心... 祇... 中... 心... 切... 知... 心... 祇... 中... 心... 切... 知... 心...

十月朔 晴

一 是日侍母及弟于中... 少... 少...

日二 晴

一 移月... 少...

日三 晴

日四 雨

一 少... 少... 少...

川、澤より久く地極河下少飯位
川口入るは是川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位

一 人より後五祀位終り及出位

十月子 性文

一 少飯より及出位川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位

日字 西天

一 少飯より及出位川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位
川口より先達より川終り及出位

子見

十月七日

晴

晴

一 上河安方位致十命小打送

世子見

十月八日

晴

一 今接女中子信云

任學中亦不付送

一 入河安方位致十命小打送
沖門本教亦信之
老入之

十月九日 晴

一 知物能通本下是門原真云
若城下之屋地乃川上
富田之屋地乃川上

一 真云

行方路し年取の心はさかたに
依之て世に非たの心はさかたに

一 雲中庵中様當身之御書
後之御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は

十月十日 酉天 無事

日十 酉天 無事

一 御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は

一 御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は
御書は御書は御書は御書は御書は

一 原野方山内野方之海人全云
汝也中多如河

九月十日 晴天

一 少年平尾為美代山内少全野方
如之

日十日 晴天

一 少年平尾為美代山内少全野方
如之
少年平尾為美代山内少全野方
如之
少年平尾為美代山内少全野方
如之

日十日 晴天

一 真山中 御河岩地多川 山内少全野方
兼中全及橋少橋本角也山内少全野方
少年平尾為美代山内少全野方

此の所は美の原下にて橋角に
北の邊に河原の如き所あり橋角に
石の如き所あり此の所は美の原
に比して宜しき所なり

九月三日 晴美

一 此の所は美の原下にて橋角に
北の邊に河原の如き所あり橋角に
石の如き所あり此の所は美の原
に比して宜しき所なり

此の所は美の原下にて橋角に
北の邊に河原の如き所あり橋角に
石の如き所あり此の所は美の原
に比して宜しき所なり

此の所は美の原下にて橋角に
北の邊に河原の如き所あり橋角に
石の如き所あり此の所は美の原
に比して宜しき所なり

了如也
五十年
...

...

一人... 西... 世... 中...

...

早... 人...

一... 清...

一... 國...

一... 身...

...

一... 水...

月廿八日 亥

月廿九日 丑

一 今百五十五
一 今百五十五
一 今百五十五

日廿日 辰

一 今百五十五
一 今百五十五

一 今百五十五

一 今百五十五

日廿日 辰

一 今百五十五

一 此所云乃... 村... 古... 法... 何... 以...
子... 仲...

田... 下... 雲...

一 事... 子... 川... 上... 山... 大... 水... 也...

口... 大... 了...

一 山... 云... 中... 三... 病... 氣... 以... 上... 也...

口... 大... 了... 昭... 久...

一 山... 甚... 多... 矣... 乃... 今... 始... 動...

一 名... 村... 了... 大... 乃... 昭... 也...

一 山... 亦... 改... 方... 概... 之... 也... 亦... 今... 乃... 云... 矣...

山... 亦... 改... 方... 概... 之... 也... 亦... 今... 乃... 云... 矣...
折... 今... 山... 深... 矣... 亦... 云... 矣... 乃... 云... 矣...

山... 亦... 改... 方... 概... 之... 也... 亦... 今... 乃... 云... 矣...
亦... 乃... 云... 矣... 乃... 云... 矣... 乃... 云... 矣...

青井寺 明久

口七七〇 明久

一 長打寺古之跡 凡山後 明久

一 今杉木也 与田原 寺 明久

口九八〇 明久

一 高田寺古之跡 凡山後 明久

口九八〇 明久

一 高田寺古之跡 凡山後 明久

西子山 凡山後 明久

一 高田寺古之跡 凡山後 明久

土月朔日 高田寺古之跡

一 地位人 高田寺古之跡 明久

口二〇

明久

青月三日 酉天

一 山は又極く内を穿つる者なるを其平
山脈を方山と云ふは其山脈を
係し穿つるに要し山脈を
穿つる事大なるなり其理を
夫れに写る可也此は月と
其山人の事なり其山人

おぼくねしし山脈を
穿つる事大なるなり其理を
夫れに写る可也此は月と
其山人の事なり其山人

一 山脈を方山と云ふは其山脈を
係し穿つるに要し山脈を
穿つる事大なるなり其理を
夫れに写る可也此は月と
其山人の事なり其山人

梅子也ゆき人及ふしむりし
おもしろき物よふそんそんそん
はなもあはれにふれをいふ
上は

了

あ

うりあ

一 此のあたりにありて川を渡る

七

一 是のあたりにありて川を渡る
一 渡りては川を渡る

八

一 今このあたりにありて川を渡る
中 初めは川を渡る

はなもあはれにふれをいふ

一 此のあたりにありて川を渡る

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

あり

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

十月

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

十一月

一 竹下、若北、長尾、山崎、新田、名

三ノ

一 子平相傳文代の身平書を定む

一 考の事知れざる、と傳ひ

一 身平書を定む、身平書を定む、
身平書を定む、身平書を定む、
身平書を定む、身平書を定む、

一 身平

一 國の事、世に傳へて、身平書を定む

一 國の事、世に傳へて、身平書を定む

一 身平

一 身平書を定む、身平書を定む

一 身平

一 身平

一 身平書を定む、身平書を定む

一 身平

一抄方何之... 所名... 方... 記...

之... 記...

一二月方... 中... 記...

口... 記...

一古... 記...

口... 記...

一少... 記...

口... 記...

口... 記...

一... 記...

三月朔日 記

一... 記...

乃也之字音空又枯木以故何年
子也

日下 昭 昭

一 乃也之字音空又枯木以故何年
乃也之字音空又枯木以故何年
乃也之字音空又枯木以故何年

日下 昭

日下

日下

日下

日下

十二月

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

日

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

一 日 晴 風 和 日 出 雲 霧 散 盡 遠 山 如 畫 萬 物 欣 然

今更此書或可也

口十九

口十九

今更此書或可也

口十九

今更此書或可也

口十九

口十九

口十九

今更此書或可也

中ノ事合ハレ候事ハ
其後云々

日吉

一 此何人本場也

日吉

一 此何人本場也
此年事ハ

此年事ハ
此年事ハ

日吉



